

平成22年度 学校経営計画に対する中間評価報告

重点目標	具体的取組	主担当	評価の観点	実現状況の達成度判断基準	集計結果	分析（成果と課題）および後期の扱い（改善策）
<p>1 「勉学を第一義とする」をふまえ、高い学力を身につけ進路志望の実現を図る。</p> <p>・1時間の授業の大切さを意識し、意欲的に取り組む。</p>	<p>① 校内研究授業や研究協議会などを通して、授業の質的な向上を図り、授業改善に取り組む。</p>	教務課	<p>【満足度指標】 生徒の授業に対する満足度が高まった。</p>	<p>「授業が充実しているか」について、4段階評価の平均値が、 A 3.40点以上 B 3.35点以上 C 3.30点以上 D 3.30点未満 ※ 4段階評価の基準  <ul style="list-style-type: none"> <li>・よくあてはまる …4点</li> <li>・ややあてはまる …3点</li> <li>・あまりあてはまらない …2点</li> <li>・全くあてはまらない …1点</li> </ul>                     ※ 昨年度は3.37点</p>	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研究授業を5教科で実施し、教科の研究テーマに基づいた研究協議を実施した。また、教員同士の授業参観を、1人平均4回行っている。</li> <li>・7月実施の「生徒による授業評価」では、授業に対する満足度が3.32であった。12月にも実施予定である。</li> <li>・生徒の変化に対応した初期指導がますます重要になってきており、今後とも、より一層生徒の状況把握に努めていきたい。</li> </ul>
	<p>② 部・同好会の活動終了後、速やかに帰宅し、学習への切り替えができるよう、時間の有効活用について指導する。</p>	生徒指導課	<p>【成果指標】 部活動等から学習への切り替えができる生徒が多くなった。</p>	<p>「帰宅後、学習への切り替えがうまくできている」という生徒の割合が、 A 80%以上 B 60%以上 C 40%以上 D 40%未満</p>	未定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月に生徒に対するアンケート調査を実施して判定する。</li> <li>・下校時刻は18:30であり、今のところ、生徒の帰宅時刻に問題は生じていない。</li> <li>・部活動後、部室近辺などで談笑している生徒も少なくなっており、時間を有効に活用する習慣が身につけてきている。</li> </ul>
	<p>③ 授業等による基礎学力の定着を大前提とした上で、難関大入試分析や東大・京大・医学部説明会等の充実を図り、受験集団としての意識を高める。</p>	進路指導課	<p>【成果指標】 受験集団としての意識が高まり、東大・京大の合格者が増加した。</p>	<p>東大・京大の合格者の合計が、 A 30人以上 B 25人以上 C 20人以上 D 20人未満  ※ 昨年度は21人（現役）</p>	未定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月末の受験結果により判定する。</li> <li>・2・3年生を対象にした東大・京大・医学部説明会を実施した。</li> <li>・3年生については、今後、模試等の結果を踏まえ、個別指導を充実させる。また、3年学年団と連携し、生徒を対象にした情報連絡会を実施する予定である。</li> </ul>
	<p>④ 外部講師による講演会や大学・研究所訪問により、生徒の科学に対する興味関心を高めるとともに、将来の進路選択にもつなげる。</p>	SSSH推進室	<p>【成果指標】 講演会や大学・研究所訪問が、将来の進路選択に役立った。</p>	<p>「講演会や大学・研究所訪問が、進路選択に役立った」という生徒の割合が、 A 75%以上 B 75%未満 C 55%未満 D 35%未満</p>	未定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1月に生徒に対するアンケート調査を実施して判定する。</li> <li>・これまで「人間科学」、「コスモサイエンス」において6回、外部講師による講義を行った。</li> <li>・また、10月には「つくばサイエンスツアー」を実施し、筑波宇宙センターなど9つの研究所等を訪問し研修を行った。</li> <li>・今後も大学や研究所との連携を進めていきたい。</li> </ul>
	<p>⑤ ホーム担任及び学年主任は、年間5回以上の個別面接指導を行い、生活面をはじめ、授業や家庭学習、校外模試に臨む姿勢など学習面について、個に応じた指導を行う。</p>	1学年 2学年	<p>【満足度指標】 個人面接指導により、生徒の学習姿勢や学力が向上した。</p>	<p>「学年団の指導が、自分の学習姿勢や学力の向上に役立った」という生徒の割合が、 A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満</p>	未定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月に生徒に対するアンケート調査を実施して判定する。</li> <li>・各学年とも約3回の個人面談を行い、学習、進路等についての相談を受け、個別指導を行った。また、学年主任による面談も適宜実施している。</li> </ul>
	<p>⑥ 授業をより充実させるとともに、補習や個人添削等により、生徒一人一人の志望や学力にあわせた指導を、時機を逸することなく行う。</p>	3学年	<p>【成果指標】 個に応じた指導により、第一志望の大学への進学が実現した。</p>	<p>難関10大学及び国公立大学医学科の合格者が、 A 100人以上 B 90人以上 C 80人以上 D 80人未満</p>	未定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導課と協力して、東大・京大・医学部説明会や学年集会を実施し、生徒の進路意識・目的意識を高めた。</li> <li>・また、授業の充実に加え、平日補習や添削指導等によって難関大学入試に対応できる2次力の養成に努めている。</li> <li>・外部模試の成績が順調に推移しており、今後、第一志望の進路実現に向けて、取組をさらに充実させていく。</li> </ul>

重点目標	具体的取組	主担当	評価の観点	実現状況の達成度判断基準	集計結果	分析（成果と課題）および後期の扱い（改善策）
2 「品位を高め、他の人格を重んずること」をふまえ、よりよき集団づくりを目指し、絶えず自己研鑽に努める生徒を育てる。  ・あいさつの励行、体力の向上、環境美化、成果ある部活動と生徒会活動の活性化に努める。	① 挨拶をきちんと行うことにより、相手を尊重する態度を育成する。	生徒指導課	【成果指標】 しっかりと挨拶が出来る生徒が多くなった。	「自分はしっかりと挨拶をしている」と答えた生徒の割合が、 A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	B	・10月に実施したアンケートでは、「本校の生徒はしっかりと挨拶・会釈をしている」と感じている生徒が86.4%だった。 ・教師の声掛けに答えるだけでなく、自ら進んで挨拶をするよう促していきたい。
	② 部活動等の活性化及び競技力の向上を図る。	生徒指導課	【成果指標】 生徒主体の活発な部活動により、県総体の総合順位が上がった。	県総体の総合順位が、 A 3位以上 B 6位以上 C 9位以上 D 10位以下	未定	・現在の順位は未定であるが、6月の県総体の結果からみると、団体優勝が無かった分、昨年度より順位が下がっている可能性が高い。しかし、ベスト8に入った数は昨年度以上であり、活発な部活動が維持できている。 ・新人大会等に向けて、生徒とともに力を合わせて頑張っていきたい。
	③ 環境美化の意識を高め、清掃活動への取組を充実させる。	保健環境課	【満足度指標】 清掃活動が充実し、学校の環境美化が進んでいる。	「清掃タイムを徹底することにより、環境美化への取組が進んだ」という生徒の割合が、 A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	A	・用具の点検・補充改善などが進んだこともあって、生徒の82.7%が「環境美化の取組が進んだ」と答えている。 ・取組をさらに工夫して、学校の環境美化に努めていきたい。
	④ 魅力ある充実した図書館を目指し、蔵書管理の電算化を図るとともに、図書コーナーを充実させるなど、読書・学習環境の整備に努める。	図書課	【成果指標】 図書館の利便性が高まり、図書の貸出し数が増えている。	1年間（1月末現在）の本の貸出し数が、 A 4,500冊以上 B 4,500冊未満 C 4,000冊未満 D 3,500冊未満 ※ 昨年度は3,520冊	（9月末現在） 貸出数 2,308冊 開館 99日	・入館者数は昨年約1.5倍と大幅に増加したが、貸出数は、1.08倍と微増にとどまった。蔵書管理の電算化により、貸出業務は大いに効率化され利便性は高まったが、貸出数の増加に反映されているとは言い難い。 ・後期は校内読書会、図書館便りの更なる充実を図るとともに、閲覧室の特設コーナーの定期的な更新や新着図書のPRに努めるなど、生徒が利用しやすい魅力的な図書館のあり方を模索していく。
	⑤ 登校時、SH、授業など、あらゆる機会を捉えて、自己責任や規則遵守の意義を理解させるための指導を行う。	1学年 2学年 3学年	【成果指標】 規範意識の高まりにより、遅刻が減少した。	全校で1日あたりの平均遅刻者数が、 A 3.0人未満 B 4.0人未満 C 5.0人未満 D 5.0人以上	D	・9月までの集計では1日平均7人の遅刻者がおり、昨年を大きく上回っている。（春から雨天が多く、バス通学の生徒による遅刻が増加したため。） ・冬場にむけて、「悪天候時は交通機関が遅れるのが当たり前」という意識をもたせ、いつもより早く家を出よう呼びかけていきたい。
	⑥ 遠足、スポーツ大会、創立記念祭等の学校行事を通して、クラスの団結力を高め、生徒の自主性・主体性を育てる。	1学年 2学年 3学年	【満足度指標】 学校行事を通して、自主性・主体性が身についた。	「創立記念祭等の学校行事に取り組むことで、自主性・主体性が身についた」という生徒の割合が、 A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	A	・創立記念祭を始めとする学校行事に、ホーム一丸となって取り組んだ。「自主性・主体性を身につけることができた」という生徒の割合は93.4%である。 ・今後、身についた自主性やクラスの団結力などを、学習面でも生かせるよう指導していきたい。

重点目標	具体的取組	主担当	評価の観点	実現状況の達成度判断基準	集計結果	分析（成果と課題）および後期の扱い（改善策）
3 「正義を愛し、社会から信頼されること」をふまえ、生徒とともに開かれた学校づくりに努める。  ・保護者懇談会、授業公開の機会拡大。地域社会と連携した生徒活動の推進。	① PTA総会や「いしかわ教育ウィーク」等による学校公開を進めるとともに、生徒主体の「地域活動チャレンジ事業」を充実させることにより、保護者や地域から信頼される学校づくりを目指す。	総務課	【成果指標】 本校の教育に対する保護者等の関心が高まり、学校公開への参加者が増えた。	PTA総会、「いしかわ教育ウィーク」における来校者数の合計が、 A 1,000人以上 B 750人以上 C 500人以上 D 500人未満	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>PTA総会では、800名を越える保護者の参加があった。</li> <li>「いしかわ教育ウィーク」については、昨年以上の参加者になるよう、機会を捉えてPRに力を入れていきたい。</li> </ul>
		教務課	【満足度指標】 積極的に授業を公開することによって、学校が保護者等から、より一層信頼されるようになった。	保護者による学校評価の「教職員は指導力に優れ、信頼できる」に対し、「よくあてはまる」及び「ややあてはまる」と答えた保護者の割合が、 A 95%以上 B 90%以上 C 85%以上 D 85%未満	未定	<ul style="list-style-type: none"> <li>12月に保護者に対するアンケート調査を実施して判定する。</li> <li>授業については、PTA総会、土曜エクステンション、「いしかわ教育ウィーク」などをとおして、積極的に公開している。</li> </ul>
	② ISO活動「節電・紙の節約やリサイクル・ゴミの分別」を通して、環境保全意識の向上を図る。	保健環境課	【満足度指標】 学校や地域での環境活動を通して、生徒の環境意識が高まった。	「ISO活動の実践や広報を通して、環境意識が高まった」という生徒の割合が、 A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴミの分別や、節電、節水のPRに努め、生徒の意識向上に取り組んでいる。環境美化、リサイクルなどのエコ活動をとおして「環境意識が高まった」と答えた生徒が82.7%であった。</li> <li>具体的な成果についてはISO活動の各種データを分析して判断する。</li> <li>今後は、未使用の教室の消灯に心がけ、一層の節電に努めたい。</li> </ul>
	③ 生徒や保護者が気軽に来室して利用でき、安心して相談に臨める環境づくりを一層進める。	教育相談室	【努力指標】 「相談室だより」により、生徒や保護者が親しみやすく、気楽に来室できるようになった。	「相談室だより」を発行した回数 が年間、 A 5回以上 B 4回 C 3回 D 2回以下	(9月末現在) 2回発行	<ul style="list-style-type: none"> <li>「相談室だより」を2回発行し、気軽に相談室を利用できることを知らせた。特に1年生には全員対象のアンケート調査を実施し、相談室の存在をアピールした。来室した生徒には丁寧に対応している。</li> <li>相談室は、保護者を交えた懇談の場としても活用されており、今後、個々の生徒に対する支援をさらに充実させたい。</li> </ul>
	④ 理数科1・2年生が、「中学生サイエンスフェア」及び「創立記念祭」において、小・中学生を対象にした理科教室を開講し、科学教育の面から地域に貢献する。	SSH推進室	【満足度指標】 理科教室の運営を通して、生徒の地域貢献に対する意識が高まる。	「理科教室を開催して良かった」という生徒の割合が、 A 80%以上 B 60%以上 C 40%以上 D 40%未満	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>創立記念祭の「理科教室」に加えて「中学生サイエンスフェア」に参加して、様々な実験を紹介することができた。「理科教室を開催して良かった」と答えた生徒の割合は92.5%である。</li> <li>小中学生に対する説明をとおして、実験手順や内容などをわかりやすく伝える方法を学び、異年齢の児童生徒に対するコミュニケーション能力を身につけることができた。</li> </ul>
	⑤ ホームページの更新を定期的に行い、各種行事・部活動・SSHの様子や教育課程・進路などの情報を、よりわかりやすく発信する。	情報管理室	【満足度指標】 「学校のホームページにより、学校の様子がわかる」という保護者が増加した。	「学校のホームページにより、学校の様子がわかる」という項目の「よくあてはまる」と「ややあてはまる」を合わせた割合が、 A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	未定	<ul style="list-style-type: none"> <li>12月に保護者に対するアンケート調査を実施して判断する。</li> <li>前期の公式HPの更新回数は24回である。今後も即時性をもって更新できるよう心がけていきたい。</li> <li>また、HPの他に、生徒・保護者・教職員を対象に携帯電話等へ学校の情報をメール配信している。10月末現在の加入者は1,157人である。</li> </ul>